

単
元
名

冬の星空

教科書出版社名 (啓林館)

○ 小学校 (4) 年 教科等 (理科)

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

(教科等で付けたい力)

- ・星の位置の変化や時間の経過に着目し、星の特徴を調べる。
- ・観察に関する技能を身につける。
- ・実際に星を観察し、時間の経過による星の位置の変化や星の特徴の理解を深める。
- ・既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や、主体的に問題解決しようとする態度を育成する。

(学校図書館等の活用で付けたい力)

- ・インターネットと本からの情報収集の違いを知り、本の情報量を感じ取る。
- ・本の中から、必要な情報を選択する力を育む。

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

- 情報収集…教科書に掲載されているもの以外に、冬の夜空にはどのような星座があるのか、資料やタブレット端末で調べる。
- 整理・分析…調べてわかったことをワークシートにまとめる。
- まとめ・表現・発信…整理した情報と共に、自分の考えをまとめる。

○ 学習の展開 (全3時間) (学校図書館等を活用した時間は☆)

第1次	冬の星座の動き・色・明るさについて知ろう。 ・動画を活用し、冬の夜空に見えるオリオン座・冬の大三角の動き方や星の明るさや色の違いについて知る。 ・季節によって見える・見えない星座があることから、オリオン座とさそり座にまつわる神話を知り、他の星座・神話に関心を持つ。 (宿題で星の観察を行う)
第2次 ☆	冬の星・星座について調べよう。 ・宿題で実際にながめた星・星座の動き方や色、明るさを確認する。 ・資料を基に、調べたい星・星座・神話について、関心を持って調べる。 ・ワークシートにまとめる。
第3次	発表会をしよう。 ・調べてまとめたことを発表する。

(本時2 / 3時)

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい
星・星座や神話に関心を持ち、それらについて調べ、まとめる。

学習展開

時間(分)	主な学習活動	指導上の留意点
10	1. 家庭学習で観察した星・星座の動き、色、明るさを確認する(主にオリオン座と冬の大三角)	・季節が変わっても、方位ごとの星の動き方は変わらない。
5	2. 本時のめあてを確認する 「冬の星空」について、まとめノートを書こう。	
25	・まとめノートの内容を確認する。 ①オリオン座・冬の大三角について ② 星座の位置や並び方 ③ 調べてわかったこと ・冬に見ることのできる星座を探し、くわしく調べる。 ・調べてわかったことをまとめる。	集めた様々な資料から関心のある内容や、わかりやすい内容を見つける。 書いてある内容をそのまま写すのではなく、地震が理解できた内容をまとめるよう、声かけをする。
5	3. この単元の学習のふり返りを書く	

